白金酒造石蔵

【所　在　地】姶良市姶良町脇元 1943 － 1
【種　　別】登録有形文化財
【登録年月日】平成 13 年８月 28 日

白金酒造の創業は明治２（1869）年で，その時の石蔵かどうか明らかではないが，明治 10（1877）年の西南戦争の時，陣として使われたとの言い伝えがある。この頃にはすでに現存した石蔵であろう。

大規模で，２階建に切妻造の屋根をかけ，桟瓦葺きである。１階全部を甕仕込みに使い，隅に階段を設け，２階を展示や集会に使用している。屋根はルース台風（昭和 26（1951）年 10 月）で破壊された。その後，屋根の修復を示す棟札（昭和 28（1953）年７月 21 日の日付けを有す）が柱に打ち付けられている。その時にトラス形式の屋根に変更した。

鹿児島県内には多くの石蔵が現存する。その中でも当家の石蔵は姿形が美しく，古い歴史を有す代表的な遺構である。